

## 行政調査報告書「戦略的モビリティマネジメント特別委員会」

令和4年10月5日～7日

### ■群馬県邑楽郡明和町 『明和町のデマンド交通について』

現在デマンド交通として「チョイソコめいわ」、「楽ラクシー」の実証実験中である。どちらもアイシンのチョイソコシステムを導入し、停留所間もしくは自宅から停留所を利用者からの依頼を受け、最適な乗り合わせと経路を計算して運行する。

今後の公共交通の費用負担も含めて検討するうえで、会員制・予約制でシステムを利用したやり方は効率的である。単なる移動手段という視点でなく、高齢者をターゲットとした福祉施策として、健康増進につながる外出促進のきっかけづくりも参考となった。



### ■茨城県高萩市 『高萩市の公共交通について』



路線バス事業者により、「リクエスト型最適経路バス（ダイナミックルーティングバス）MyRideのるる」の実証実験を令和3年度から実施している。のるるは平日8時30分から15時まで、土日祝日は9時から14時まで運行エリアを決めて運行しており、それ以外の時間帯は通常の路線バスが運行している。スマホアプリ、電話で予約を受け付け、人工知能AIが最適なルートを提案する。既存のバス停に、標柱がない仮想バス停を加え、きめ細かな乗降場所を設置した。

近くにバス停がなく不便に感じている高齢者の多い地域では、仮想バス停は有効な仕組みである。利用者の多い朝夕の定時定路線バスは残し、比較的用户の少ない昼間に同じ車両を使ってデマンドに切り替える手法は参考になる。

### ■千葉県富里市 『さとバスの運行終了と新デマンド交通について』

市内に鉄道駅がなく、民間の路線バスが7路線、市が運営していた「さとバス」が2路線あったが、利用者が極めて少なく非効率であったことから、さとバスは令和4年9月30日で廃止となった。高齢者等の移動の利便性向上のため、10月1日から新デマンド交通を開始した。7時から19時までの間に30問隔で運行しており、どこからでも乗りたい時間を25便の中から選べる。乗降ポイント間の移動ができる乗降ポイント方式と、70歳以上の市民を対象とした、自宅と乗降ポイント間の移動ができるドア・ツー・ドア方式がある。



料金も比較的安く利用しやすいが、利用者ニーズと費用負担をよく検討する必要性を感じた。定時定路線バスがあるため、併用にあたり課題もある。